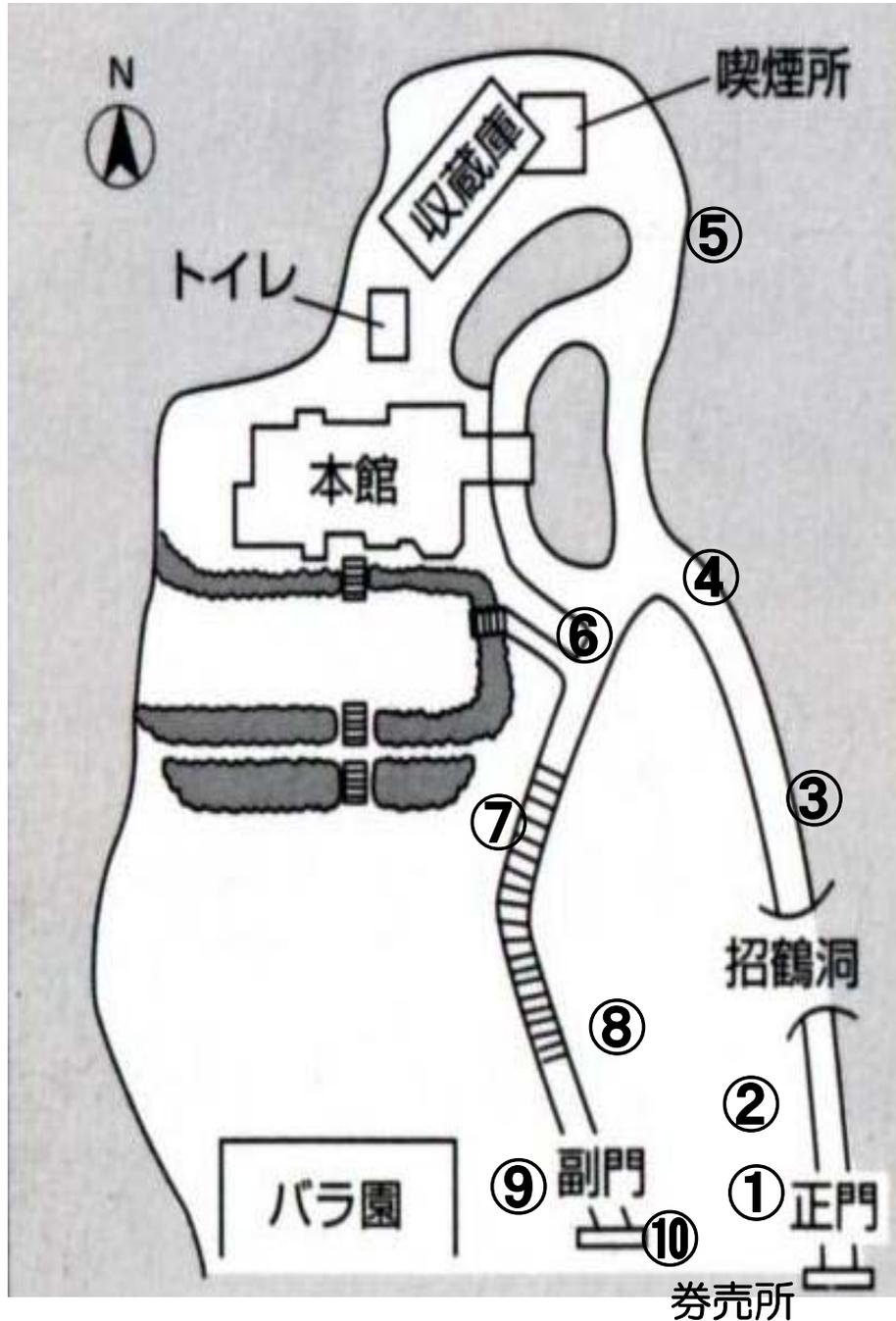


◆鎌倉文学館 庭園の外灯碑◆



①万葉集 卷十四

「鎌倉の見越の崎の岩崩の君が悔ゆべき心は持たじ」
 (鎌倉の見越の崎の岩くえのように、あなたが後悔するような不誠実な心はありません)

②源実朝

「大海の磯もとゞろによする波われてくだけでかけて散るかも」

③正岡子規

「人丸ののちの歌よみは誰かあらん征夷大將軍みなもとの実朝」
 (柿本人麿以後の歌人で、すぐれた人は誰がいるだろうか。それは征夷大將軍源実朝であることよ)

④松尾芭蕉

「鎌倉は生きて出にけん初松魚」

⑤夏目漱石

「冷やかな鐘をつきけり円覚寺」

⑥吉井勇

「夏は来ぬ相模の海の南風にわが瞳然ゆわがこころ燃ゆ」

⑦星野立子

「まますの飯もおさいも土筆かな」

⑧松本たかし

「柿日和浄妙寺さまてくてくと」*草むらの中のため近くではご覧いただけません。

⑨高浜虚子

「秋天の下に浪あり墳墓あり」

⑩久米正雄

「破魔矢得て飛雪の磴をひたに下る」